

地球惑星科学委員会 IUGS 分科会 IPA 小委員会（第 24 期・第 1 回）議事録

日時：平成 30 年 6 月 22 日（金）10:00～11:30

場所：東北大学総合学術博物館 西弘嗣教授室

出席者：大路、真鍋、西、西田、堀、生形、佐藤、遠藤

欠席者：江崎

議事：

1. 役員を選出

- ・今期の委員長に大路委員が、幹事に遠藤委員が、選出された。

2. IPC5(Paris, France)に関する情報

- ・IPC5 が今年の 7 月 9 日から 13 日にパリで開催される。
- ・7 月 11 日に IPA 総会が開かれ、新役員が決定される。
- ・IPC6 の開催地も議論される予定であるが、日本は IPC6 には立候補しないことは、IPA に連絡済みであることが報告された。

3. IPA に関する情報

- ・次期新会長は Sylvie Crasquin 博士 (France) に、事務局長は Renbin Zhan 博士 (China) に内定している。副会長（5 名）の 1 人として日本から大路委員が就任することが内定している。

4. 中国との国際協定の締結、その後の進展

- ・日本古生物学会から真鍋会長と大路会員が南京に出向き、中国古生物学会と 2018 年 3 月 20 日に MOU（5 年間、何もなければ自動更新）を締結した。
- ・巡検、職員の研修、企画展などを日中共同で開催することを通じて協力関係を構築することが目的。
- ・来年中国古生物学会が創立 90 周年を迎えるため、その記念大会に日本、ロシア、韓国など近隣諸国から出席して欲しいとの中国側の意向が紹介された。

5. 国際的な古生物関係のイベントの紹介と対応

- ・今年国際生物学賞の選考分野は古生物学・人類学である。その記念シンポジウムがこの秋に名古屋で開催される。受賞者が古生物学者であった場合、本委員会委員もその開催に協力することが同意された。

6. 大型研究計画の進展状況

- ・海洋学会が中心となり、水産学会・古生物学会と共同で「深海アルゴフロートの全球展開による気候・生態系変動予測の高精度化」を申請している。学術会議の地球惑星科学委員会でこの3月に行われたヒアリングでは、上位の評価であった。

7. その他

- ・国内の大学にある自然史標本の実態調査について
堀委員が全国の自然史博物館に個人的に調査依頼中である。自然史学会連合等が中心となって早急にネットワーク化等の議論を始めるべきであるとの意見があった。
- ・ICOM（国際博物館会議）が来年京都で開催される。
- ・次回本小委員会は、日本古生物学会小田原例会の際（2019年1月25日）に開催の予定。